

柿本議員（民主県政会）

令和3年12月14日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）安芸高校及び呉昭和高校の在校生の学校生活への影響について

令和3年2月定例会において、教育長から、子供たちへの影響とその対応について、学校間の連携による、学校行事の合同開催や部活動の合同練習、合同チームでの大会出場や、教育内容を維持するための教員の人的支援などを検討すると答弁があった。

そこで、その検討により、来年度以降、在校生の学校生活に影響が出ないよう、具体的に何をどのように行おうとしているのか、教育長に伺う。

（答）

安芸高等学校及び呉昭和高等学校におきましては、生徒募集停止となり、生徒及び教職員が減少する令和4年4月以降においても、生徒が充実した学校生活を送れるよう、教育内容を維持するために必要な人員体制や、文化祭・体育祭といった学校行事の実施方法などについて、検討しているところでございます。

こうした中で、今年度につきましても、例えば、

- ・ 安芸高等学校では、体育大会における全校生徒・教職員全員が参加してのダンスや、ラジオのパーソナリティーを招聘してのPTA主催の講演会の企画、
- ・ 呉昭和高等学校では、文化祭におけるサプライズ企画としての花火の打ち上げ

など、生徒の思い出作りに、PTAや地域の方々の御支援の下、一丸となって取り組んでいると伺っております。

教育委員会といたしましては、両校に在籍する全ての生徒が、卒業まで充実した学校生活を送り、それぞれが希望する進路を実現できるよう、引き続き、学校と緊密に連携を図りながら全力で支援してまいります。